

府 県 向 青 刈 エ ン バ ク SEVEN OAT

千葉農場

薄

巖

セブンオート

誰にでも容易に栽培することができて、早春の青刈用として便利な青刈エンバクは、府県では秋播きするため、冬の寒さに耐える性質を持っていなければなりません。雪印種苗では、この目的に適した青刈エンバクとして耐寒、多収な雪印一〇一号、豊葉などの優良品種を育成し、広く利用していただいておりますが、別に外国品種の導入も企画し、昭和三〇年欧米より青刈用としての特性を備えたものを蒐集調査中のところ、その中でも米国から導入した、銹病抵抗性品種と、冬型品種の交配系統に期待のもてるものが見つかり以来千葉農場において選抜固定をはかりながら生産力検定を行なった結果、つぎの七つの優れた特性をもったものが作り出されました。

- ① 耐寒性が強い。
- ② 分けつが多い。
- ③ 青刈収量が多い。
- ④ 倒伏しない。
- ⑤ 銹病に強い。
- ⑥ 生長点が低い。(二・三度刈に有利)
- ⑦ 子実生産が多い。

以上のような七つの優れた特性を持ったエン麦「セブンオート」と名づけ、今秋より発売する事にしました。

以下千葉農場における試作成績をもとにしてその特性をご紹介します。

一 特性の概要

本品種は秋播性のもので、稚苗時は匍匐型ですが、早春の生育期からは直立型となり、草丈は太豊、豊葉に比べるとやや短かく、葉は中、茎の太さは中細、分けつは多く穂は開散します。

前進、太豊、豊葉に比べて出穂期、成熟期ともに一週間位早いのが、早生種の岡山黒に比べると二週間ぐらい遅く、セブンオートは中晩生種といえます。

子実はやや小粒で、子実収量は早生種の岡山黒には劣りますが、太豊、豊葉等に比べますと多収であります。

暖地における秋播エン麦は全般に早播や、遅播したりしますと寒霜害によって生産力産力を大きく左右しますが、セブンオートは耐寒性が極めて強く、特に早播に対する適応性は大で前進、岡山黒、太豊を上回ります。(第一表)

葉は濃緑で良質、嗜好性も良く、分けつ旺盛、生長点が低いので割合低刈りにも耐えます。

耐倒伏性は相当の多肥栽培でないかぎり稈が強く殆ど倒伏しないし、耐病性も強く、青刈エンバクの大敵である銹病に対しては、特に優れた抵抗性を持っております。

千葉農場に於いて数年間行なった特性調査は第二表の通りであり、セブンオートは、優れた特性をもっております。

二 青刈収量

本品種は青刈用としての利用の他に、耐寒、耐倒伏性が強いので菜畑の風よけと

牧草と園芸 九月号 目次

頁

□ 牧草の害虫 (2) 坂本 与市 表二

■ 有毒植物 (6) 三橋 博 表三

□ 府県向青刈エンバク
セブンオート 薄 巖

□ 会社だより 一

■ 植生シリーズ (5) 日本植生学会 三

■ 青刈作物 COの栽培と利用 細田 友雄 四

□ 牧場めぐり 六

■ みみずと農業 (1) (新連載) 山口 英二 二〇

■ 北海道においてこれから
伸びるりんごの品種と更新 細貝 節夫 二四

□ 海外の研究 二六

〈表紙写真〉 サラブレッド



輝く太陽の下でゆうゆう草をはむサラブレッドは細く引き締まった体とつやつやした毛を持っておりいかにも競争馬らしい。(伊達紋別、高橋農場にて)

第1表 早播による青刈収量の比較 昭和36年

品 種 名	寒 害 程 度	1 番刈 4月18日		2 番刈 5月22日		1~2 番刈 合計		1 回刈 5月22日	
		生草重 kg	収量比 %	生草重 kg	収量比 %	生草重 kg	収量比 %	生草重 kg	収量比 %
セブンオート	無	31,80	125	12,00		4,380	172	6,120	136
前 進	甚大 90%枯死	60	2	420		480	19	1,380	31
岡 山 黒	無	2,550	100	0		2,550	100	4,500	100

(注) 播種期 10月7日 収量比は岡山黒を100%とした。

生 育 (草 丈) 調 査

品 種 名	36 年 度			37 年 度			38 年 度		
	草 丈 cm		5月22日 生育相	草 丈 cm		5月20日 生育相	草 丈 cm		5月29日 生育相
	4月18日	5月22日		4月23日	5月14日		5月4日	5月29日	
セブンオート	56	119	開 花 終 期	65	120	133	68	114	乳熟始
前 進	53	134	出穂始	76	127	147	67	117	止葉期
岡 山 黒	67	120	乳熟期	77	132	139	72	111	乳熟期

第2表 特 性 調 査 成 績

品 種 名	年 度	播種期 月 日	耐 寒 性	病 害	倒 伏	茎太 のさ	分け つ	出穂期 月 日
セ ブ ン オ ー ト	35	10. 7	5	極少	少	中	多	5. 9
	35	10. 24	5	極少	無	中	多	5. 11
	36	10. 25	5	極少	極少	中細	多	5. 11
	37	10. 25	5	極少	少	中細	多	5. 20
前 進	35	10. 7	1	中	少	太	少	5. 17
	35	10. 24	3	中	少	太	少	5. 19
	36	10. 25	3	中	中	太	少	5. 25
	37	10. 25	2	中	中	太	少	5. 31
岡 山 黒	35	10. 7	5	多	中	中	中	4. 27
	35	10. 24	5	多	中	中	中	4. 28
	36	10. 25	5	中多	中	中	中	4. 28
	37	10. 25	5	中多	中	中	中	5. 9

(注) 耐寒性は5が強い。

第3表 標準播による刈取期別生草収量の比較 昭和37年

品 種 名	早 刈 区						普 通 刈 区		遅 刈 区	
	1番刈 4月23日		2番刈 5月30日		1~2 番刈合計		5月14日刈取		5月30日刈取	
	生草重 kg	収量比 %	生草重 kg	収量比 %	生草重 kg	収量比 %	生草重 kg	収量比 %	生草重 kg	収量比 %
セブンオート	2,310	105	2,850	211	5,160	146	5,880	119	7,590	173
前 進	1,770	88	1,920	142	3,690	104	4,155	84	4,470	102
岡 山 黒	2,190	100	1,350	100	3,540	100	4,950	100	4,380	100

(注) 収量比は岡山黒を100%とした。

第4表 6年間の平均青刈収量 (10 a 当 kg) 昭和35~41年

品 種 名	35 年		36 年		37 年		38 年	40 年	41 年		6 年 平 均	
	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	生草重	収 比
セブンオート	4,770	6,690	4,680	6,240	5,160	7,590	5,130	6,270	6,190	8,310	6,103	146
前 進	1,680	4,260	2,520	4,320	3,690	4,470	3,990	5,250	0	0	3,018	72
岡 山 黒	3,420	5,400	2,640	4,110	3,540	4,380	3,510	4,890	4,200	5,790	4,188	100

(注) Aは青刈2回刈、Bは1回刈、41年の前進は寒霜害のため枯死した。

しても利用されます。
寒霜害に強いので早播の増収効果が顕著であり、分けつ多く再生力が旺盛なので、二番刈りにおいても良質な生草が多量に生産でき、サイレージ用としても好適、一〇畝あたり五〜六、〇〇〇kgぐらいの生草収量は容易であります。(第三表)

三 適 地

千葉農場において過去六年間行なった平均青刈収量は第四表の通りであります。
暖地における青刈エンバクは、利用目的に応じて品種を選択すべきですが、セブンは秋播の青刈用として、東北地方あ



るいは高冷地などにおける秋播栽培の可能性については、今後も調査を続ける必要があるが、とりあえず関東地方を中心に温暖地における寒霜害に強い青刈品種として、適応性が広く、地力の低い土壌でもかなりの青刈収量が期待できるものです。
以上、青刈エンバクセブンオートの特徴

概要を簡単に述べましたが、耐寒性極めて強く、分けつ多く再生力旺盛で強健、耐病耐倒伏性強く、嗜好性もよく多収な新品種でありますので、是非ご試作されることを弊社が自信を持ってお奨めするものであります。

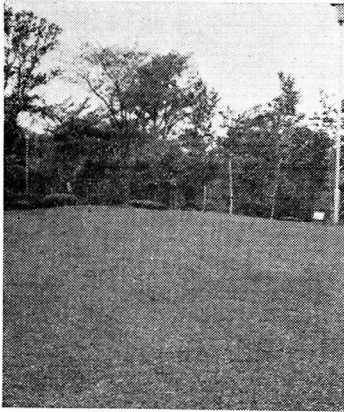
(雪印種苗千葉農場)

植生コンサルタント

日本植生株式会社

日本植生株式会社に研究製品化された庭園用のインスタント芝である。一般家庭の庭やわずかの宅地に、美しい緑の芝生があったらとの夢が手軽にかなえられる時代がやってきた。

内容物には、夏には夏に強い品種、冬には冬に強い品種がそれぞれ混入されており、施工時期の限定がなく、インスタント芝を、一度庭に播き付けると年間を通じ、冬といえども緑の芝が庭園を色どり、みごとに生育続ける。芝種子と混合されている高分子物質が土壌の表面に被膜を生じて、発芽までの保護するように考案されている点など、自然に科学を加えた研究が見られる。したがって、整然と均一に発芽し、微量要素が適量混合され、発芽後の保全を考慮され、芝種子が発芽して生育する間の



肥料も十分混合されている。

一般の人は、種苗店やデパートの園芸用品売場で、袋入りのインスタント芝種子を買ってきて、芝生を作ろうとする土地を耕し、平らにして播き付け、時々水をかけてやれば、牧草種子が発芽して、早急に立派な芝生ができる。

播種量は、一袋(二・五坪)を三・三平方坪(一坪)にまける。播き方としては、できるだけ風のない日に移植ゴテのようなもので、地表面を軽く掘り起して平に整地して播き付け、クワか板で鎮圧し、ジョロで丁寧に散水する。播種後の管理は毎日一回(朝又は夕)ジョロで散水すると、施工時期によって異なるが、一〜二週間、きれいな芝生ができる。又発芽してから、できるだけ散水すれば良い。芝生が造成されても、早春と早秋には一平方坪当り、尿素肥料(N四〇割)五〜七坪を施肥する。草丈が一〇センチ以上になると、刈り込みを行なうなどの手入れをすることにより、美しい芝生を長く眺めることができる。

このインスタント芝は美しい袋入りとなっており、団地の主婦や勤め帰りの主人が手軽くさげて帰れ、また販売店では店舗やウインドウに飾って商品価値を十分発揮できるとなっている。

秋まけば、春早く収穫できる、寒さに強い。

早春の青刈作物 新発売品種 雪印スーパーシーオー

試作用 小袋 50円 100袋入
特用袋 100円 (約70坪分)

普通の「なたね」とは違う青刈用の葉菜。葉や茎が巨大で、嗜好と栄養の高い多収な優良新品種。弱酸性地、湿田に強く、水田裏作、園地の間作や畑地に寒地、暖地共に秋まきして、早春の青刈飼料として貴重なものです。是非ご試作下さい。

耐寒性新青刈えんばく

セブンオート 登場

試作用 小袋 50円
特用袋 200円
(1kg袋入 約70坪分)

☆七つの特徴

- 寒さに対して強い。
- 分けつが多い。
- 青刈収量が多い。
- 倒伏しない。
- 銹病に強い。
- 生長点が低い。
- 子実生産が多い。

会社だより

イタリアンライグラスの大型多収品種 マンモスイタリアン

優れた特性が安定した経営をよぶ。

- 普通種より30%以上増収、多肥によって10坪当り15〜20トンも可能です。
- 草丈高く、葉長く、葉幅広く一見して巨大型です。
- 刈取後の再生が早く、集約的に年間6〜8回刈ができます。
- 分けつ旺盛で、風雨による倒伏の被害は少ない。
- 普通種より、夏枯れの被害少なく、又早ばつや病害にも強い。
- 他牧草との混播にも適し、青刈、乾草、サイレージの収量をあげます。
- 栄養価値が高く、糖分含量も多いので、家畜が好んで食べます。

